

現在当部では、標準化に係る知財標準化ポリシーに関する検討として、標準化の過程の中で起こりうる知財の問題の可能性の調査を行っております。

ISO,IEC,JISに関しましては問題はないと考えているのですが、特にフォーラム規格に関しては、フォーラムが独自の知的財産権ポリシーを持っていて、標準化の過程で自動的に知財にRAND条件が課されるなどのケースがときどきみられます。

このような標準化を産総研が十分把握していないことについて、連携を検討いただいている企業等から懸念が示されております。

幸いなことに産総研が関連するフォーラム規格はそれほど多くないので個別にあたらせていただいるのですが、森岡様にご尽力いただいた、

SEMI E77-1104:

マスフローコントローラの換算率の代用ガス使用による計算方法/Test Method for Calculation of Conversion Factors for a Mass Flow Controller Using Surrogate Gases. の策定に当たりまして、以下について教えてください。

産総研殿 質問事項 2016/6

1. 標準化団体に知的財産権ポリシー(IPRポリシー)はあるでしょうか？
2. ご自身の標準化団体への策定の参加をすべて把握できていますか？
3. 標準化の起案のプロセスを教えてください。また、標準化のどの段階で知財に対する宣言あるいは態度表明(RAND等)を行わなければならないかに制限があれば教えてください。
4. 特許その他の知財に関して特殊な許諾条件を課す標準化グループにあたるでしょうか？
5. 標準化団体(スキーム)の移行 (フォーラムからデジュール化など)は考えられるでしょうか？
6. フォーラム規格からISO/IECに格上げしようとした時に途中から無料許諾からRANDに変更できますか？